

# 2024年事業計画書

自 2024年4月1日  
至 2025年3月31日

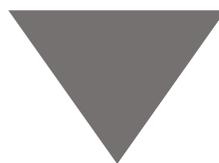
東京都中央区築地3丁目11番6号  
(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

- I. 事業方針
- II. 重点項目の具体的取り組み
- III. 会員加入促進事業
- IV. スポーツ事業
- V. 全日本選手権マーケティング事業
- VI. MC普及事業
- VII. 安全対策と環境改善事業
- VIII. 地域組織管理
- IX. 国際対策
- X. 補助金事業

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

## 周辺・ 社会環境

- ・物価上昇と賃上げがスポーツ産業にも影響
- ・コロナ禍終了とともに、再び海外（特にアジア）から日本への注目が高まっている
- ・スポーツもブランディングの世界に突入 SNSを活用することで地方から魅力や楽しさ発信しファンを獲得
- ・“トキ消費”や“イミ消費”など見えないモノを価値とし、投資する新たな動きもはじまっている
- ・FIM 女子世界選手権がスタート。FIM E-XPLORERは男女ミックス競技。ジェンダーに対する意識が高まる
- ・黒船襲来！ 全日本RDにDucatiワークス車両が参加、全日本MXは今年もジェイ選手の圧勝が固い



## 事業方針

本年度は 2025年に向けた準備期間として、新たな人材とともに営業活動や組織運営を見直し、新システム稼働や価格改定に取り組む。モーターサイクルを使った“スポーツや遊び”を、“トキ・イミ消費”と位置づけ、魅力磨き、価値掘り起こしを中心とした事業活動を実施する。

## 本年度の重要項目

1. 投資と価格改定
2. 国際化の推進
3. 安全/環境対策
4. 多様性/女性活躍の土台作り
5. 組織のシンプル化
6. ブランドと社会的認知向上

### 1. 投資と価格改定

- ① 会員管理システム更新
- ② 2025年会員・賛助会費、特別会員会費、競技会申請料、施設公認料など 価格改定に向けた手続き

### 2. 国際化の推進

- ① 全日本モトクロス選手権 すべての大会を国際格式に変更【2024年度実施】
- ② 2025年地方選手権や承認競技会を 国際格式申請を可能とする制度整備（申請料含む）
- ③ 全日本選手権の車両規格が、世界選手権と一部乖離しており、国際基準に沿った車両規格に再整備する

### 3. 安全/環境対策

- ① 安全指導を行うインストラクター制度の再設定を行い、セミナーの実施
- ② セーフティ委員会とメディカル部会を定期開催し、脳震盪ガイドライン更新など 選手、役員の安全向上に取り組む
- ③ 全日本選手権においても、FIM環境コードを批准し、環境改善に取り組む

### 4. 多様性/女性活躍の土台作り

女性スポーツ部会を設立し、大会競技役員に女性役員の配置義務などの提言を行う

### 5. 組織のシンプル化

各種目委員会に於ける構成委員の選任方法とオブザーバーの在り方を検討

### 6. モーターサイクルスポーツのブランドと社会的認知向上

- ① 自治体や省庁と連携し、モーターサイクルスポーツの社会的認知向上を図る  
首長や長官をプレゼンターとして迎えや後援名義を付けた大会を拡大させる（後援名義数 36大会以上）
- ② トライアルや電動競技をアーバンスポーツに近づけ、身近なモータースポーツとしての認知向上を図る
- ③ スポーツマーケティングに実績あり企業と連携し、魅力発信と“あこがれられ”を醸成させる

### 1. 個人会員事業

- ① 個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う（WEB申請・郵送申請）
- ② 個人会員の生活に沿った魅力あるサービスの特典として提供する
  - ・ 会員管理システムのシステム更新を推進中
  - ・ 会員制度の価値を高めるため、新たにモトクロス“スポーツ走行”やイベントとしての“ツーリング”を事故補償する制度を整える（新設：後援行事）
  - ・ 承認競技会に参加する資格を整理し、わかり易く整える  
新たなライセンス取得希望者が理解しやすい案内や制度を検討する

### 2. 法人会員事業

特別会員・賛助会員・メディア会員の申請受付・登録作業を行う

### 3. プロモーション事業（新しく仕組化）

各地のレース開催情報や結果、規則変更など、WEBやSNSを通じ告知する。

- ・ モーターサイクルスポーツのマーケティングと会員向け情報配信を実施

## 1. 主催事業

MFJが主催もしくは共同主催として、世界選手権、全日本選手権を開催する

- 主催競技会を28大会開催する
- スポーツ庁及び観光庁の“後援名義”をトライアル、エンデューロまで拡大する  
(スポーツ庁×24大会、観光庁×14大会)

## 2. 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。(計画 390大会)

- 全日本モトクロス選手権、すべての大会を国際格式に変更する
- エリア選手権、地方選手権、そして承認競技会の国際格式申請の制度整備を行う
- 競技会公認料および申請料の価格改定手続きを行い、2025年度改定を実施する
- 全日本トライアル選手権、第6戦～第8戦を国際格式へ変更

## 3. 大会運営支援事業

主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員、セーフティオフィサー、レースアドバイザー、テクニカルアドバイザー等を派遣する

## 4. 主要競技会日程

### FIM世界選手権/国際選手権

スポーツ庁  
後援申請

観光庁  
後援申請

#### ◎MotoGP日本グランプリ

Round	日程	会場	開催クラス			
第18戦	10月4～6日	モビリティリゾートもてぎ（栃木）	MotoGP	Moto2	Moto3	ATC

#### ◎世界耐久選手権 鈴鹿8時間耐久ロードレース

第3戦	7月19日～21日	鈴鹿サーキット（三重）	EWC	SST		
-----	-----------	-------------	-----	-----	--	--

#### ◎アジアロードレース選手権日本ラウンド

第2戦	6月7日～9日	モビリティリゾートもてぎ（栃木）	ASB1000	SS600	AP250	UB150
-----	---------	------------------	---------	-------	-------	-------

Round	日程	会場	全日本クラス				MFJカップ
			JSB1000	ST1000	ST600	J-GP3	JP250
第1戦	3月9～10日	鈴鹿サーキット（2 & 4）	○				
第2戦	4月13～14日	モビリティリゾートもてぎ	◎	○	○	○	○
第3戦	5月25～26日	スポーツランドSUGO	◎	○	◎	○	○
第4戦	6月16日	筑波サーキット				○	○
第5戦	8月24～25日	モビリティリゾートもてぎ（2 & 4）	○				
第6戦	9月8～9日	オートポリス	◎	◎	○	○	○
第7戦	9月23～24日	岡山国際サーキット	○	○	○	○	○
第8戦	10月26～27日	鈴鹿サーキット（MFJGP）	◎	○	○	○	○
クラス毎レース数 ◎は2レース			11	6	6	6	6

## 【クラス協賛】

- ①JSB1000クラス …… ハルターマン・カーレス社 100%非化石由来レーシング燃料 ワンメイク燃料  
名称：JSB1000 Supported by ETS Racing Fuels
- ②ST1000／JP250クラス…… DUNLOPのワンメイクタイヤ  
名称：ST1000 DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER  
JP250 DUNLOP OFFICIAL TYRE SUPPLIER
- ③ST600クラス …… BRIDGESTONEのワンメイクタイヤ  
名称：ST600 Supported by BRIDGESTONE

## 【映像露出】

①動画Live配信 motoバトルLive 全戦・全クラス・予選/決勝

②TV motoチャンネル（BS12） 毎月最終日曜午後6時～ ダイジェスト

## 【シリーズ管理】

委託先 …… モーターサイクル・レーシング・プロモーション・オブ・ジャパン（MRPJ）

業務内容 …… 全日本ロードレース専用WEBの運営・管理およびプロモーション

## 【トピックス】

4月、2025年版環境対応燃料のテスト開始。現状課題を解決した製品になる計画

ART協力を得て、全日本のプロモーション強化。劇的改善は難しいが、確実な改善を目指す

## D.I.D全日本モトクロス選手権 (全て国際格式)

Round	日程	会場	全日本クラス				併催
			IA1	IA2	IBOpen	Ladies	
第1戦	3月30～31日	オフロードビレッジ (埼玉)	○	○	○	○	○
第2・3戦	4月20～21日	HSR九州 (熊本)	○	○	○	○	○
第4戦	6月1～2日	スポーツランドSUGO (宮城)	○	○	○	○	○
第5戦	6月22～23日	新千歳モーターランド (北海道)	○	○			○
第6戦	9月14～15日	名阪スポーツランド (奈良)	○	○	○	○	○
第7戦	9月28～29日	オフロードビレッジ (埼玉)	○	○	○	○	○
第8戦	10月19～20日	スポーツランドSUGO (MFJGP)	○	○	○	○	○

スポーツ庁  
後援申請観光庁  
後援申請

5月第3戦“世羅グリーンパーク弘楽園 (広島)”が中止。第2戦HSR九州にて、第2・3戦を開催。

【シリーズ冠協賛】 大同工業株式会社 (D.I.D) 継続

シリーズ名称： D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ2024

【映像露出】

①動画Live配信 motoバトルLive IA1/IA2/LMXの決勝

②TV motoチャンネル (BS12) 毎月最終日曜午後6時～ ダイジェスト

【シリーズ管理】

(株)モトスポーツプロモーション

- ・ エントリー窓口一元化・ オフィシャルHP (JMX) による情報発信 SNSでの拡散
- ・ Eチケット販売 (二輪販売店との提携)
- ・ シリーズスポンサー対応 (露出物設置等)
- ・ レースディレクション等派遣管理・ 主催者との連絡調整

【トピックス】

全ての大会が国際格式として開催、併催レースも 海外から参加可能

アジアを中心に情報発信し、注目を高め 海外からの参加者を集める

お客様動向調査を行い、来場地域やお客様満足度を把握し、2025年施策につなげる

国際格式化に伴い、FIM環境コードを広め、モトクロス会場の環境改善に着手する

## モトクロス全国大会

	日程	会場	開催クラス				
			NA	NB	JX	K65	CX
	11月10日	オフロードビレッジ (埼玉)	NA	NB	JX	K65	CX
	11月17日	HSR九州 (熊本)	NA	NB	JX	K65	CX

スポーツ庁  
後援申請

FIMトライアル世界選手権 スポーツ庁 後援申請 観光庁 後援申請

Round	日程	会場	開催クラス			
第3戦	5月18~19日	モビリティリゾートもてぎ（関東）	TRGP	TR2	WGP	

2024全日本トライアル選手権（第6戦~第8戦を国際格式へ変更予定） スポーツ庁 後援申請

Round	日程	会場	全日本クラス			
			IAS	IA	IB	Ladies
第1戦	3月31日	キョウセイドライバーランド（中部）	○	○	○	○
第2戦	4月14日	玖珠トライアルパーク（九州）	○	○	○	○
第3戦	6月2日	モビリティリゾートもてぎ（関東）	○	○	○	○
第4戦	7月14日	わっさむサーキット（北海道）	○	○	○	○
第5戦	9月1日	灰塚ダムトライアルパーク（中国）	○	○	○	○
第6戦	10月13日	湯浅トライアルパーク（近畿）	○	○	○	○
第7戦	10月27日	スポーツランドSUGO（東北）	○	○	○	○
第8戦	11月3日	シティトライアル（近畿）	○選抜			予定 <span style="float: right; background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">観光庁 後援申請</span>

- 【映像露出】 動画Live配信、MFJ公式YouTubeチャンネル、土曜パドック紹介・日曜決勝
- 【シリーズ管理】 (株)モトスポーツプロモーション
- ・ イベント事務局業務（エントリー窓口一元化）・オフィシャルWEBによる情報発信 SNSでの拡散
  - ・ 最終戦シティトライアルジャパンに、新たにLadiesクラス開催する
  - ・ 鈴鹿・もてぎ2 & 4、全日本モトクロス会場 計3回、トライアルデモを実施  
モーターサイクルスポーツの普及と全日本トライアルのPR活動を実施
  - ・ 第6戦~第8戦を国際格式へ変更予定

2024 トライアルグランドチャンピオン大会

	日程	会場	開催クラス			
	11月10日	湯浅トライアルパーク（近畿）	GC	Ladies	地区対抗	

## 2024全日本エンデューロ選手権

Round	日程	会場	全日本クラス				
			IA	IB	NA	NB	W
第1戦	4月27～28日	スポーツランドSUGO（東北）	◎	◎	◎	◎	◎
第2戦	6月9日	テージャスランチ（広島）	○	○	○	○	○
第3戦	9月14～15日	日高（北海道）準国際	◎	◎	◎	◎	◎
第4戦	10月26～27日	プラザ阪下（大阪）	◎	◎	◎	◎	◎

スポーツ庁  
後援申請観光庁  
後援申請

◎は2 Days／有効ポイント対象

【シリーズ管理】(株)モトスポーツプロモーションとの契約終了、新たに釘村選手の団体がシリーズ管理事務局を請け負う

【トピックス】日高大会が国立公園内での大会となるため、スポーツ庁、観光庁の後援名義申請を行い、価値最大化を図る

## 2024 全日本スーパーモト選手権

Round	日程	会場	全日本クラス			併催		
			S1 Pro	S1 Open	S2			
第1戦	4月14日	スポーツランドSUGO（東北）	○	○	○	○		
第2戦	5月19日	HSR九州（熊本）	○	○	○	○		
第3戦	6月30日	茂原ツインサーキット（千葉）	○	○	○	○		
第4戦	7月14日	名阪スポーツランド（奈良）	○	○	○	○		
第5戦	9月22日	神戸スポーツサーキット（神戸）	○	○	○	○		
第6戦	10月13日	名阪スポーツランド（奈良）	○	○	○	○		
第7戦	11月10日	美浜サーキット（愛知）	○	○	○	○		

【トピックス】茂原サーキットが非開催となるものの、新たに神戸スポーツサーキットで開催され、開催数の変更なし。

## 2024全日本スノーモビル選手権

Round	日程	会場	全日本クラス				併催	
			SX Pro	SX A1	SX A2	SX b1		
第1戦	2月4日	真狩特設会場（北海道）	○	○	○	○	○	
第2戦	2月11日	士別特設会場（北海道）	○	○	○	○	○	
第3戦	2月25日	ウイズユー四季彩の丘特設（北海道）	○	○	○	○	○	
第4-5戦	3月9～10日	岩木青少年スポーツセンター（青森）	○	○	○	○	○	

## 5. 表彰式・顕彰事業

- ① 全日本選手権表彰式 “MFJ Moto Awards”  
全日本選手権各種目の年間チャンピオンを表彰する式典を開催する。（各種目最上位クラスは3位まで）  
開催日：12月21日（土） 場所：東京・大手町・日経ホール
- ② MFJモーターサイクルスポーツ殿堂  
殿堂評議委員会にて、殿堂顕彰者を選考。  
顕彰式は、MFJ Moto Awardsにて実施。
- ③ 日本ライダーズフォーラムと共催する「にっぽん応援ツーリング」の優秀者を、東京モーターサイクルショーにて表彰する。
- ④ スポーツ庁顕彰 スポーツ功労者賞  
社会的認知を高めるために、スポーツ庁が企画するスポーツ功労者賞に推薦する。

## 6. 代表選手派遣事業

国別対抗世界選手戦の代表チームの選抜と認定を適時行う。

- ① インターナショナル・シックスデイズ・エンデューロ（ISDE）  
9月14日（土）～19日（木） スペイン／ガリシア州シレダ
- ② トライアル・デ・ナシオン 9月21日（土）～22日（日） スペイン／イグエーニャ
- ③ モトクロス・オブ・ネーションズ 10月 5日（土）～ 6日（日） イギリス／マッターレーベイジン
- ④ アジア国別対抗戦 第1戦 8月30日（金）～9月1日（日） タイ / タイランドサーキット  
第2戦 10月12日（土）～13日（日） 台湾 / 台中  
第3戦 11月22日（金）～24日（日） フィリピン／ターラックヒル

### 7. 競技用車両・部品・用品の公認と販売サービス事業

- ① 競技の公平・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する
- ② 主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ③ 公認用品製作／販売会社に製品に貼付する公認を証するマークを販売する
  - ・ 国産ノンスリップのコースペイントを開発する
  - ・ 競技用車両・部品・用品の公認料、マーク販売価格改定

### 8. 競技施設の公認事業

競技用施設の安全性を担保する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認する  
公認済み施設も安全が維持されているか定期査察を実施する

- ・ 曖昧になったコース査察基準や属人化した査察員の基準を再度整備し、規定化する

### 9. 競技役員の教育事業

各主催者の主要競技役員を集めたシーズン前セミナーや勉強会を開催

メディア・一般への情報提供を内容に応じ、効率的に発信する

### 1. 全日本ロードレース/モトクロスの映像制作・露出

- ① GMP社へ業務委託
- ② YouTubeでのライブ配信
- ③ BS12にてダイジェスト放映
- ④ 放映後、Web動画配信

### 2. トライアルの映像制作・露出

- ① 自然山通信へ業務委託
- ② YouTubeでのライブ配信

### 3. オフィシャルホームページ制作とSNS配信

- ① ロードレース : モーターサイクル・レーシング・プロモーション・オブ・ジャパン (MRPJ) へ業務委託  
モトクロス、トライアル : モトスポーツプロモーション (MSP) へ業務委託
- ② 各業務委託先へ、ホームページとSNS 運用と活用アドバイスと支援実施

### 4. 全日本ロードレースサポーターズパスの販売・運営

全日本ロードレース選手権の年間パドックパスを一般に販売する

- ① ライディングハート社へ、案内と券売業務を委託
  - パス購入者の観戦状況を大会限定情報をメールにて配信

## 1. 出展事業

全日本選手権で活躍する選手のトークショーやパフォーマンスデモなどと同時に、競技車両を展示しモーターサイクルスポーツの魅力に興味を持っていただく。試乗・体験可能な地域イベント情報を提供し、参加機会を提供する

- ① 東京モーターサイクルショー、大阪モーターサイクルショーへの出展
- ② 鈴鹿 及び もてぎ 2 & 4 レースへの出展

## 2. 一般ライダーに向けた活動（ツーリング・イベント等）事業

### ① 共催

日本ライダーズフォーラムと共催にて「にっぽん応援ツーリング」を実施  
ボランティアを主体としたライダー達の地位向上、より良い二輪文化の創造を目的としたイベント

### ② 後援協賛

A) 日本ライダーズフォーラム/風間深志事務所が主催するイベントを後援

- ・ SSTR2024 石川県・羽咋市
- ・ 世界環境デー-Joint motionへそミーティングin山中湖

B) モトライダースサポートの主催するモトライダースフェスタ2024

箱根エリアのアネスト岩田ターンパイク（占有使用）バイカーズラダイス南箱根、アネスト岩田スカイラウンジ、十国峠レストハウスを会場に、レース車展示、デモ走行、試乗会、等を行うイベントに協賛

### ③ “ツーリング研究会” 設置

モーターサイクルを楽しむ一種として人気を博す「バイクツーリング」を研究・学ぶために設置する

海外では「レース」と「ツーリング」が共存し、FIMに於いても過去から取り扱う

国内外で開催されているツーリングイベントを調査し、ヨーロッパなど諸外国の様にツーリングファンとスポーツファンの垣根を取り去りイベント（観客・参加者）へ波及させるべく検討する

## 3. キッズのバイク体験事業

バイクに触れたり乗ったことがない子どもたちに、ポケバイや電動バイクに試乗する機会を創る。

- ① モビリティリゾートもてぎにて、ポケバイ体験会の実施
- ② 東京モーターサイクルショーにて、ポケバイもしくは電動バイク体験会を実施

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会そして各種目委員会にて安全向上と環境対策に取り組む

## 1. 全域に及ぶ安全対策

- ① 事故再発防止を主眼とする事故調査・対策の検討そして情報の共有

## 2. 選手に対する安全対策

### ① 全種目

- A) 公認規格に基づく装備品（ヘルメット/レーシングスーツ）の公認（主：スポーツ事業）
- B) 安全装備の装着義務と推奨の周知（主：スポーツ事業）
- C) 脳震盪の判定対応と復帰プログラムの推進
- D) 熱中症に対する啓発
- E) 既往症や処方薬を記載するメディカルパスポートの運用
- F) ドーピングコントロール

- 脳震盪判定プログラムを最新基準に更新する

### ② ロードレース/モトクロス

- A) サーキットアドバイザーの配備補助（ロードレースのみ）
- B) インストラクター養成事業の実施（ロードレースのみ）

## 3. 施設/競技役員に対する安全と環境改善対策

- ① ロードコース規定に基づき競技施設の定期査察及び改修査察の実施（主：スポーツ事業）
- ② 全日本選手権のモトクロス、トライアルに、医療用品の配備とAED配備（主：スポーツ事業）
- ③ 地方選手権のモトクロス、トライアル、エンデューロに、AED配備（主：地域組織管理事業）
- ④ 地方の競技役員の安全と運営・判定レベル向上に向けた教育（主：地域組織管理事業）

- 将来の安全対策のため、全日本選手権のコース図、役員配置、医療体制を資料として保管する
- 競技役員が安全に競技会に参加できるよう、自宅～会場までの移動も保険対象に制度変更
- ヘルメットやバックボードの必備品の改善と配備、その使用方法を含めたオンラインビデオ講習会の充実（JKA補助事業）
- 女性部会を設立し、大会競技役員に女性役員の配置義務を検討する

## 4. 観客に対する安全・環境対策

- ① オフロード種目に於ける観客への注意喚起と立ち入り禁止表示の配備
- ② FIM 環境ガイドラインに沿った、喫煙所、トイレ、水場、ゴミ箱の配備
- FIM環境ガイドラインを全日本選手権にも適用し、全日本選手権の観戦環境を改善する



1. 国際モーターサイクリズム連盟（以下FIMという）、FIMアジア協会への加盟、連絡、調整
2. FIM総会・FIMアジア総会へ委員及び事務局員の派遣（リモート含む）
3. FIM規則の翻訳
4. FIM・FIMアジアライセンスの発行
5. FIM世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定セミナーの開催および受講者の派遣（リモート含む）
6. 国内開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
7. 国内モーターサイクル業界における環境活動に対して、FIMへFIMライドグリーン認定の申請
8. 来日したFIM、FIMアジアならびに協会関係者への滞在中の支援
9. 海外競技会に参加する邦人選手への遠隔・直接の支援
10. その他国際交流の促進
  - 国内で開催される国際格式の大会を海外へ発信する  
→日本の競技会の認知度を高め、海外選手の参加促進と海外に興味のある邦人選手ならびにスポンサーの海外進出のきっかけづくりを行う
  - 全日本選手権の車両規格が、世界選手権と一部乖離しており、国際基準に沿った車両規格に再整備する
  - 国際交流を念頭に、国際大会と年少者を対象とする競技会、親子バイクなどの体験会を同時開催する  
→モーターサイクルスポーツが国際交流出来るスポーツとしての認知を広める

## X. 補助金事業

1. (公財) J K Aオートレース  
MFJ競技会の安全レベルと運営力強化のため、補助金申請を行い 設備の充実を図る。
  - MFJ地域部会 拠点8地区のストレッチャーおよび保護帽を再度整備すると同時に、競技役員の教育指導強化のため、eラーニング教材を整える